

落花生を石狩市の新たな特産品に！

石狩落花生研究会(石狩市)



【播種して1ヵ月後の落花生】

【組織等の概要】

- 代表者：須藤 聖治
- 栽培面積：50a
- 主な活動内容：落花生の生産(播種、除草、収穫、乾燥)、落花生の市内外への販売ほか
- 事務局：NPO法人ひとまちつなぎ石狩
- 連絡先TEL：070-5285-2722
- URL：<https://www.instagram.com/ishikarirakkasei/>



@ISHIKARIRAKKASEI

◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 落花生は、根に多くの空気を必要とし、開花後に子房柄(しぼうへい)を土壌中に伸ばして子実を作ることから、石狩市の「砂丘未熟土*」は最高の土壌条件となっている。また、土を洗い落しやすいため落花生の栽培に適している。
*海岸沿いの砂丘、砂地にある砂質の土壌
- ◆ 2013年 市民講座の受講生が石狩市農業総合支援センターのほ場で試験栽培されていた落花生を試食。
- ◆ 2014年 落花生の美味しさに感動した受講生が試験ほ場の一部を借りて落花生の試験栽培を開始。
- ◆ 2015年 石狩落花生研究会設立。
- ◆ 発芽には地温が必要なため、マルチシートなどの保温材を使用し、積算温度の管理を徹底した。
- ◆ 水やりのタイミングに迷いが生じたことで、干ばつによる収量半減などを経験した。
- ◆ 苦労や経験が実を結び、現在は良質な落花生を栽培、収穫することができるようになった。
- ◆ 2025年度の会員数は278名。

【落花生の栽培作業と研究会の主な取組】

- 5月下旬 種蒔き・移植
手蒔き：30a / 機械での移植：20a
- 6月中旬 管理作業①
畝間の雑草を全て手作業で除去
- 7月上旬 管理作業②
開花に合わせてマルチシートを除去
畝間の雑草を全て手作業で除去
- 8月下旬 学習&交流会
- 9月下旬 収穫(3日間に分けて収穫)
- 9月下旬～10月上旬 乾燥作業
2ヵ月ほど乾燥させる
- 乾燥させた落花生を加工してソフトクリームなどの材料にする



【収穫期を迎えた落花生】



【収穫後の落花生】

【石狩落花生研究会の目的】

- 消費者へ安全・安心な落花生のPR活動
- 石狩市の特徴ある生産基盤である「砂丘未熟土」を利用した農業展開への支援
- 農業者と消費者の交流活動推進

【今後の展望】

- 収穫した落花生の食べ方を会員と研究し、将来的には落花生レストランを開きたい。
- 落花生を石狩市の新たな特産品にし、「石狩と言えば落花生」と言われるようにしたい。